



7月



令和6年6月28日
横浜市立金沢小学校
校長 保科 優子

地域や保護者の皆様とのつながりの中で

副校長 武石 博行

例年より遅い梅雨入りとなりましたが、東門の紫陽花が雨粒に映えて色鮮やかに咲いています。職員室前の花壇では、生活科で育てている花に、1年生が話しかけながら水をあげる姿が微笑ましいです。今週からは水泳学習も始まり、金沢小にもいよいよ夏の季節がやってきたように感じます。

さて、6月19日(水)には、本校体育館で「スクールゾーン対策協議会」を開催しました。この協議会は、本校PTA地区委員会が主催し、区役所や警察署、土木事務所の方々を招き、各町内会長と子ども会の方々にも参加をしてもらい、本校のスクールゾーンにおける交通安全対策について話し合うものです。今年度は、道路標識や路面標示の新設や劣化箇所の補修について14件の要望書を提出し、各関係機関からの意見を交えながら協議を行い、補修作業や巡回などの対応をしてくださることになりました。PTA地区委員会の皆様には、子どもたちの安全のためにスクールゾーンの点検や要望書の作成をしていただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、6月22日(土)には、今年度第2回目となる学校運営協議会を行いました。金沢小の学校運営協議会は、地域住民の代表として町内会長、保護者代表としてPTA会長、そして、学校地域コーディネーターや学識経験者を加えた委員で構成され、学校の基本方針の承認をはじめ、授業や行事の参観を通して、学校経営に関する意見や感想をいただいています。今回は、土曜参観の授業を参観していただき、「子どもたちが楽しそうに学習に取り組んでいる。」「学年が上がるにつれて漢字の量などが増え、成長の過程を見ることができた。」「タブレット端末を効果的に活用している授業が多く印象的だった。」などの感想をいただきました。学校からは、金沢小の「いじめ防止基本方針」と現在の「いじめ」に対する認識について伝え、「いじめ」の問題や対応について広く意見を交わしました。

7月は、個人面談が行われます。新学年になってからの学校生活や学習についてお伝えする貴重な機会となります。また、保護者の皆様からも学校に関するご意見などをいただけると幸いです。

創立151年目となる金沢小学校。これからも地域や保護者の皆様とのつながりを大切にしながら、教育活動に取り組んでまいります。